

取扱いの趣旨

爪白癬の診断確定時における顕微鏡検査又は培養検査のない爪白癬治療剤又は抗真菌剤の算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和6年9月30日》

308 顕微鏡検査等のない爪白癬治療剤又は抗真菌剤の算定について

○ 取扱い

爪白癬の診断確定時における顕微鏡検査又は培養検査のない次の爪白癬治療剤又は抗真菌剤の算定は、原則として認められない。

- (1) エフィナコナゾール外用液（クレナフィン爪外用液）
- (2) ホスラブコナゾールL-リシンエタノール付加物カプセル（ネイリンカプセル）
- (3) ルリコナゾール外用液（ルコナック爪外用液）

○ 取扱いを作成した根拠等

上記(1)から(3)の爪白癬治療剤又は抗真菌剤は、添付文書の効能又は効果に関連する注意に、「直接鏡検又は培養等に基づき爪白癬であると確定診断された患者に使用すること。」と記載されている。

爪白癬は、爪甲、爪床、又はその両方に変形が生じる真菌感染症である。爪変形は爪白癬以外の皮膚科疾患においても生じることから、顕微鏡検査又は培養検査を実施することにより、白癬菌を認め爪白癬の診断を確定した上での治療が必要である。

以上のことから、爪白癬の診断確定時における顕微鏡検査又は培養検査のない上記(1)から(3)の爪白癬治療剤又は抗真菌剤の算定は、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

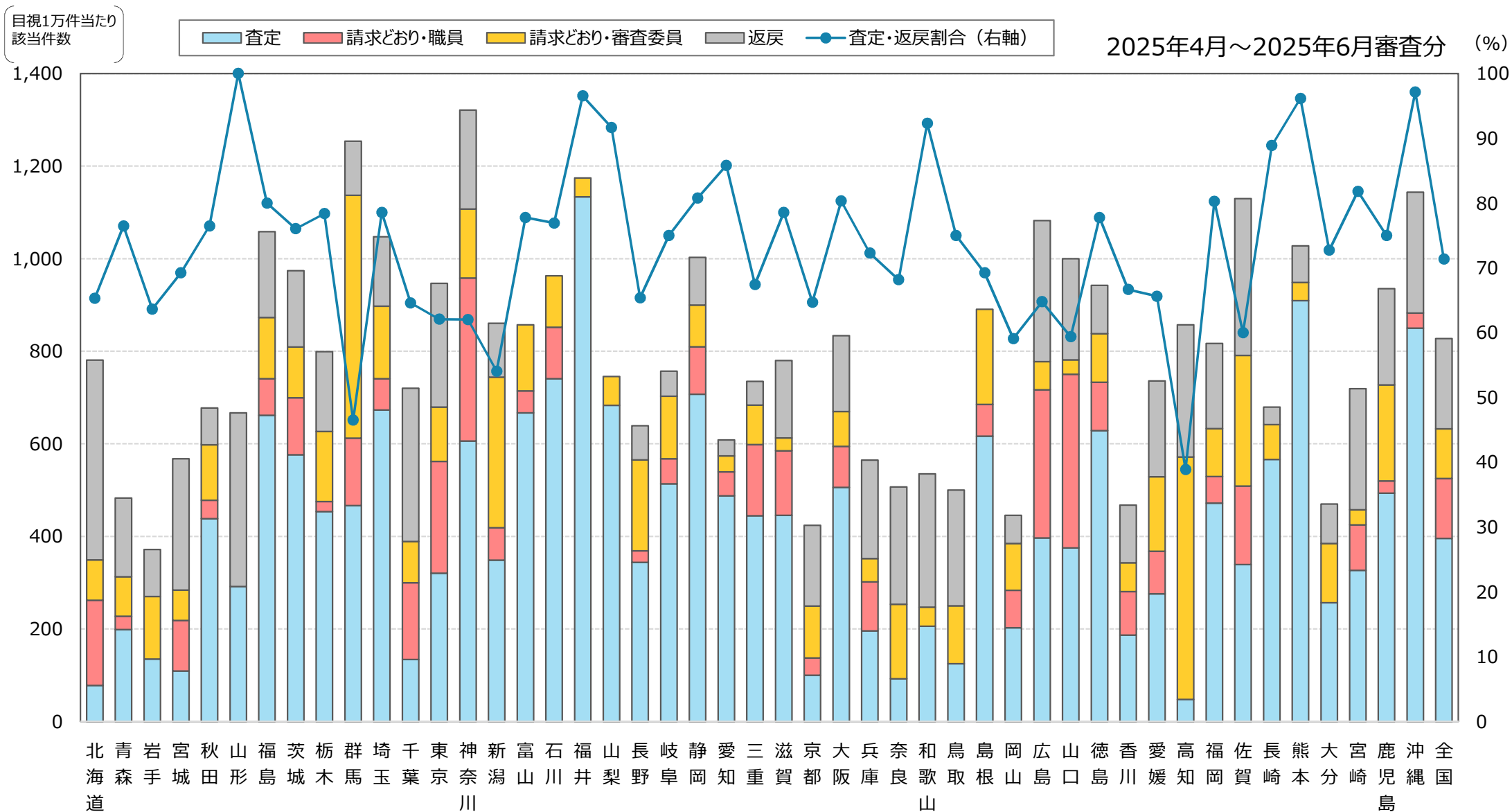
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 71.35%
- 検証対象都道府県 41

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	高知、群馬、新潟、岡山、山口、佐賀、神奈川、東京、岩手、千葉、京都、広島、北海道、長野、愛媛、香川	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	山口、神奈川、広島、東京、北海道、佐賀、千葉、三重、群馬、滋賀、茨城、石川、宮城、兵庫、徳島、静岡	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	群馬、高知、新潟、佐賀、鹿児島、島根、長野、奈良、愛媛、埼玉、栃木、神奈川、富山、岩手、岐阜、福島	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	2,838件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	2,025件
検証を必要とする審査	請求どおり	813件



該当件数	170	17	11	26	17	16	40	71	37	43	140	113	443	266	37	18	26	29	12	26	56	78	141	43	28	34	300	101	22	13	4	13	22	71	32	18	15	32	18	71	20	18	26	11	22	36	35	2,838
請求どおり件数	59	4	4	8	4	0	8	17	8	23	30	40	168	101	17	4	6	1	1	9	14	15	20	14	6	12	59	28	7	1	1	4	9	25	13	4	5	11	11	14	8	2	1	3	4	9	1	813

【該当件数】取扱いの趣旨に該当したレセプト件数